

国際的な 水問題語る

館林で
橋本さん

館林市在住の水ジャーナリスト、橋本淳司さんの講演会「世界の水を奪い合う日 館林の水、食、エネルギーの未来」が、市文化会



講演する橋本さん

館で開かれ、橋本さんが水を取り巻く国際情勢などについて解説した。

橋本さんは同市生まれ。水の諸問題について取り組む水ジャーナリストとして活躍しており、東京学芸大の非常勤講師も務めている。

講演では館林市の水事情について語ったあと、アジアのメコン川など、国際河川をめぐる水争いといった世界的な水不足事情を紹介。 「日本は水に恵まれていると思いがちだが、輸入している食品に多くの水が使われており、世界の水問題とは無縁ではない」と警鐘を鳴らした。

また水を守る役割を持つ原生林の減少などについても語り「浄水場にお金をかけるよりも水源の保護に重点を置いていくべきだ」と話すと会場の聴衆は真剣な表情で聞き入っていた。